

## リニアテクノロジー、新製品「LTC2938/LTC2939」を販売開始

調整可能なウォッチドッグとリセット・タイマ内蔵のマルチレール・システム向け電源モニタ

2009年8月24日 - 高性能アナログICのリーディングカンパニーであるリニアテクノロジーは、最小1.2Vまでの低電圧アプリケーション向けに設定可能なプロセッサ監視機能付き6チャンネル電源モニタ「LTC2939」およびLTC2939の4チャンネル・バージョン「LTC2938」の販売を開始しました。どちらのデバイスにも、コマーシャル温度グレード、インダストリアル温度グレード、車載温度グレードがあります。LTC2938 は12ピン4mm x 3mm DFN または12ピンMSOP パッケージ、LTC2939は16ピン・パッケージで供給され、いずれのパッケージもRoHS 準拠です。1,000個時の参考単価はどちらも226円(税込み)からで、リニアテクノロジー国内販売代理店各社経由で販売されます。製品の詳細については、[www.linear-tech.co.jp](http://www.linear-tech.co.jp) をご覧ください。

LTC2939は、プリセットまたは可変電圧スレッシュホールドの16種類の組み合わせから選択可能です。いずれの場合も-40°C~125°Cの範囲で±1.5%の精度を維持します。このプリセット値は1本のピンに接続された1組の外付け抵抗によって選択され、実際のスレッシュホールドは5V、3.3V、2.5V、1.5V等の電源モニタリングに応じて内蔵された高精度の抵抗分割器によって設定されます。LTC2939は電源グリッチ耐性を備えているため、実質的に誤検出がなく、消費電流はわずか80μAです。LTC2939を使用して複数の正および負の電源レールをモニタする場合は、設定値、リセット・タイムアウト期間、ウォッチドッグ・タイムアウト期間をすべて設計者が決めることができます。

LTC2939は、ボードスペースが非常に重要で、監視デバイスは1個にしたいというような大型システムに適しています。複数の監視デバイスがボード全体にあり、わずか数個の電源レールをモニタするという場合がよくあります。小型で柔軟性に優れるLTC2939は、機能性や性能を低下させずにこれら複数の監視デバイスを1個のICに集約することができます。リセット・タイムアウト期間とウォッチドッグ・タイムアウト期間は、1本の外付け抵抗で容易に調整されます。ウォッチドッグ機能は、スリーステートのウォッチドッグ入力により、必要に応じてユーザーが容易にディスエーブルできます。また、ウォッチドッグ・ステータス出力を備えており、ウォッチドッグ・タイムアウト時、あるいは、低電圧状態が生じたときに直ちにトリガします。

**フォトキャプション:** 固定および可変電圧スレッシュホールドの16種類の組み合わせをユーザーが選択可能な6電源モニタ

### LTC2938/39の特長:

- 4チャンネル(LTC2938) または6チャンネル(LTC2939)の電源を同時モニタ
- 5V、3.3V、2.5V、1.8V、1.5V、1.2V、±可変電圧のスレッシュホールドを16種類の組み合わせからユーザーが選択可能

- 保証スレッショルド精度:  $\pm 1.5\%$
- リセットおよびウォッチドッグ・タイムアウトを調整可能
- ウォッチドッグ・ステータス出力
- 低消費電流:  $80 \mu A$  (標準)
- 電源グリッチ耐性
- $V_{CC} > 1V$  でアクティブ "L" RST を保証
- $125^{\circ} C$  までの高温動作
- 12ピン  $4mm \times 3mm$  DFN または 12ピン MSOP パッケージ (LTC2938)、16ピン MSOP パッケージ (LTC2939)

### リニアテクノロジーについて

リニアテクノロジー (Linear Technology Corporation, Nasdaq: LLTC、本社: カリフォルニア州ミルピタス) は 1981 年の設立以来、高性能アンプ、コンパレータ、電圧リファレンス、モノリシック・フィルタ、リニア・レギュレータ、DC/DCコンバータ、バッテリー・チャージャ、データ・コンバータ、コミュニケーション・インターフェース IC、高周波信号コンディショニング IC、 $\mu$  Module など、多岐にわたる高性能アナログ半導体を提供しています。リニアテクノロジーの高性能アナログ半導体は通信、携帯電話、各種ネットワーク製品、コンピュータ、コンピュータ周辺機器、ビデオ/マルチメディア、産業計測、セキュリティをはじめ、デジタルカメラ、MP3 プレーヤー、医療、自動車向け電子部品、FA、プロセス制御、軍需・防衛に至る、あらゆる分野で使用されています。リニアテクノロジーは 1986 年に株式公開、2000 年には S & P 500 企業に選ばれています。

LT, LTC, LTM,  $\mu$  Module 及び会社ロゴは Linear Technology Corporation の登録商標です。その他の登録商標・商標は、それぞれの所有者にその権利が帰属します。記載内容は予告なしに変更される場合があります。

#### メディアの方お問い合わせ先:

リニアテクノロジー株式会社 マーケティング 高橋和渡 TEL: 03-5226-7291 Email: [ktakahashi@linear.com](mailto:ktakahashi@linear.com)  
ミアキス・アソシエイツ 河西 TEL: 0422-47-5319 Email: [linear-pr@miacis.com](mailto:linear-pr@miacis.com)

#### 記事掲載時お問合せ先:

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町3-6 秀和紀尾井町パークビル8F  
リニアテクノロジー株式会社 TEL: 03-5226-7291 (代表) [www.linear-tech.co.jp](http://www.linear-tech.co.jp)

#### 本社メディア担当者

John Hamburger, Director Marketing Communications  
[jhamburger@linear.com](mailto:jhamburger@linear.com)  
408-432-1900 ext 2419

#### Doug Dickinson, Media Relations Manager

[ddickinson@linear.com](mailto:ddickinson@linear.com)  
408-432-1900 ext 2233

以上